

令和元年度における森林環境譲与税の用途について（四日市市）

(i)事業区分	(ii)事業名	(iii)事業総額（千円）		(iv)事業内容	(v)実績	(vi)税導入の効果（総括）
		うち令和元年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち他の財源（千円）			
木造公共建築物の整備等	一般備品整備費（小学校）	3,281	3,281	0 海蔵小学校図書室にテーブル等の木製備品を導入	・図書机9台 ・図書椅子45脚	<p>【ワンフレーズ】 税活用により、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の図書室が木のぬくもりある落ち着いた空間となり、児童の読書環境が整った。</li> <li>・新たな市民緑地の開設に向けて、私有林約2.5haの除伐等を実施することができ、市民緑地制度を活用した市内の里山保全面積が1.4倍になったことで、森林の有する公益的機能の発揮につなげることができた。</li> <li>・体育館の開館に伴い、多くの来館者に机等を利用してもらい、県産材に触れる機会を創出することができた。</li> <li>・公園来園者が県内産木材を身近に感じるようになった。</li> </ul> <p>【詳細】 本市は、里山の土地所有者の高齢化や、時代の変遷とともに里山自体に経済価値が失われてきたことなどから、除伐や枝打ちなどの手入れを放棄する地権者が増え、竹林の侵食などにより各地で里山が荒廃し、地域の特色ある景観が失われるといった影響もでてきたことから、本税を市民緑地制度に活用し、里山保全を推進することとして取り組んでいる。結果、税導入前約6.3haであった里山保全面積が、税導入により約8.8haと1.4倍となるなど、里山の保全が図られた。</p> <p>また、学校や体育館、公園などの様々な公共施設に対して木製備品の導入を行うことで、市民が森林や木材について学び、ふれあう場を提供することができた。</p> <p>図書室に木製備品が導入された学校の児童からは、木の香りが漂うくつろいだ部屋で読書ができる、と好評である。</p> <p>四日市市総合体育館では、県産材を使用した備品をメイン入口付近のエントランスプラザに配置することで、共用部（スポーツフォーラム）に使用されている県産材と併せ、木材を使用した体育館であると感じてもらえるよう配慮した。</p> <p>久留倍官衙遺跡公園では、県内産木材を使用したベンチ、テーブル、ツール、クリップボード等を公園来園者が利用することにより、木を身近に感じてもらっている。また、公園では奈良時代の役所の「門」を、古代の工法を用いて木で復元しているため、相乗効果でより木に対して愛着を来園者が感じてもらえるよう図っていきたい。</p> <p>残額は森林経営管理制度による森林整備に使用するため、基金に積み立てた。</p>
	一般備品整備費（中学校）	3,636	3,636	0 西笹川中学校図書室にテーブル等の木製備品を導入	・図書机11台 ・図書椅子46脚	
	四日市市総合体育館一般経費	3,630	3,630	0 四日市市総合体育館にベンチおよびロッカー等の木製備品を導入	・テーブル9台 ・椅子36脚 ・ベンチ8脚	
	久留倍官衙遺跡活用事業費	954	954	0 国指定史跡久留倍官衙遺跡を保存し歴史公園として活用するため、屋外用テーブルおよびベンチ等の木製備品を導入	・屋外用テーブル1台 ・屋外用ベンチ5台 ・ツール8台 ・プランターBOX30台 ・A型看板（両面）1台 ・A型看板（片面）1台 ・クリップボード20枚	
私有林整備	里山保全事業費	498	498	0 里山など貴重な緑を保全するため、市民緑地制度に基づき市が無償で借り上げた民有地1箇所（糖塚山）の施設整備および維持管理を地域団体に委託	・散策路整備2.5ha ・広場整備0.1ha	
基金積立（森林整備等）	基金積立	1,235	1,235	0 森林経営管理制度による森林整備に備えた基金への積立を実施	—	